

各社の動き

空飛ぶペンギン社

結納など結婚式を行う前段階から 早めに仕掛けるプロデュース



テレビマンが立ち上げた 婚礼プロデュース会社

空飛ぶペンギン社は4月に立ち上げたばかりの、プロデュース会社だ。代表を務める原勝則氏は、結婚式に出たゲストが楽しめるウェディングの提供を目指している。

元々、テレビ局などで働いていた経歴を持ち、社内のイベントや社内スタッフなどの結婚式では、プロデューサーとして盛り上げる機会の多かった原氏。

色々な結婚式に参加しているうちに、ありきたりの結婚式では、参加したゲストが退屈で、盛り上がれる結婚式にしたいと考えた。

参加したゲストも盛り上がれない結婚式では、自分の結婚式をしたい

という意欲もわきにくくなる。結婚式自体を盛り上げるものにしようとテーマ性などを新郎新婦としっかり取材し、まとめていくという特徴を持つている。

これまで、プロデュースを行った結婚式では、必ずゲストも含め、大いに盛り上がった結婚式になったという。

「結婚式のテーマや演出などを考えるまえに、新郎新婦と長年の付き合いのある友達になるぐらいまで、色々な話を徹底的に聞いて、なにかしたいかを探り出します。『取材』みたいな感じですね。その上で、新郎新婦だけでなく、友人関係からもみっちり話を聞いて、結婚式が盛り上がるには、なにかいいかを考えて提案するようにしています」と語る原勝則社長。

出席したゲストも楽しめ 盛り上がるウェディングを提供

同社を立ち上げるまでに、社内のイベントなども結婚式以外に行ってきたおり、そのイベントが盛り上がるように、常に考えていたという経歴から、結婚式をゲストも楽しめるものにしようと取り組んでいる。

「テレビ局で働いていた時代は、同僚の結婚式があると必ず、映像を作っていました。その後、別の企業では、社内で行うイベントの企画を盛り上がるように考えたり、仕掛け

たりしていくうちに、結婚式をする同僚から、盛り上がる結婚式にして欲しいという話が出て、結婚式のプロデュースを行うようになりました。結婚式に色々参加して、自分でも企画をしてみてもっとゲストも含めて盛り上がる結婚式を作れると考え、プロデュース会社を立ち上げました」と語る原氏。

集客に関しては、新郎新婦向けに結納のコンサルサービスも行うなどして、結婚式を行う予定のカップルをいち早く捉えられるよう、取り組んでいる。

結納に着目したのは、友人が結納をした時に、結納の細かなしきたりや、方法が分からず、苦労したという話を聞いたからというのかきつかけの1つだ。

また、結婚式をする可能性の高いカップルをいち早くキャッチすることで、結婚式のプロデュースへつながられる可能性も広がる。

結納のコンサルティグは無料で、結納式を行うカップルが結納をするのに困らないようにするとともに、プロデュースを行うユーザー獲得へつなげている。

また、HPも新婦向けではなく新郎が見ても関心を持てる中身やデザインにあえてしている。

無料の結納プロデュースのほか、上手に結婚式を行うための無料のレポートなども用意している。